



## 記念誌発刊に寄せて

財団法人長野県体育協会会長

吉村 午良

吉村 午良

このたび長野県テニス協会創立30周年記念事業として「30周年記念誌」が発刊されますことは誠に喜ばしく御同慶にたえません。

協会設立以来30年の業績を一つにまとめられその輝かしい歴史を記念誌として後世に残されますことはテニス競技発展のためにも、誠に意義深いことと存じ、関係者各位の御尽力に対し、深く敬意を表するものであります。

本県におけるテニスは戦前から全国の愛好者が軽井沢を中心に訪れ、一層その普及を促進したものと思います。

長野県庭球協会は、昭和30年10月に結成され、以来協会の充実強化とともに競技においてもめざましい活躍がみられることとなったわけであり

ます。また昭和53年の「やまびこ国体」の開催に際し、施設の整備と競技人口の拡大、競技力の急速の向上をみましたことは、誠に喜ばしいことでもあります。

近年はテニスの振興普及と競技力向上のために小、中学生を中心にしたジュニア層への育成をめざし強化体制を確立され着々とその成果をあげておりますことはテニスを心から愛する熱心な指導者とそれを支える多くの人々の理解と協力の賜とっております。

テニスは誰でも気軽に楽しむスポーツであり、県下におけるテニス人口は年々増加しており、協会への加盟者も増えていると聞いております。

どうか30周年を契機に県テニス協会がますます充実発展し、長野県の体育、スポーツの振興に貢献されますことを祈念し、祝辞といたします。